



本年度の実験結果を説明する徳島大学の中西講師

3/7 産・官・学で長洲干潟再生事業
長洲干潟環境保全・再生実験報告会

長洲干潟で本年度から行われている「長洲干潟環境保全・再生実験」の報告会を熊本北部漁業協同組合で行いました。

これは、アミノ酸コンクリートブロックを使い、あさりの餌となるケイ藻の増殖効果などを調査するもので、町と熊本北部漁業協同組合、徳島大学、鹿児島大学、水産大学校が協力して取り組んでいるものです。報告会では、干潟の水質や地形などの分析結果も報告され、出席した関係者約30人は干潟環境の保全、再生に向けて意見交換も行いました。



つぎつぎに金魚鉢をのぞき込む園児たち

3/14 町内の幼稚園・保育所で
ながす羽衣琉金をお披露目

町と町養魚組合（松井一也組合長）は、町内の幼稚園・保育所を巡り、新品種「ながす羽衣琉金」をお披露目しました。

このお披露目会は、園児たちにも新しい長洲町の金魚を知ってほしいと企画したもので、中逸町長と島崎副組合長から「ながす羽衣琉金」のシールと缶バッジが園児たちへプレゼントされました。

「ながす羽衣琉金」を初めて見た園児たちからは「ひらひらしてかわいい」、「早く飼いたい」などの声があり、会場は笑顔に包まれました。



ALTの先生（右）と一緒に料理を作る参加者

3/4 料理を通じた国際交流
長洲町国際交流友の会「クッキング交流会」

長洲町国際交流友の会（徳田美津子会長）は、すこやか館でクッキング交流会を開催しました。これは、料理を通じて世界各国の文化や伝統を感じてもらおうと毎年行っているものです。

当日は、20人が参加し、卵を使った料理でスパイシーな味が特徴の「デビルドエッグ」とジャガイモとベーコンを使ってバラの花びらをかたどった「ローズポテト」、「バナナパンケーキ」の3品の料理に挑戦。参加した人たちは、ALTの先生に作り方を教わりながら、笑顔で楽しく交流しました。



手すりの汚れを落とす参加者

3/11 きれいな公園を使ってもらうために！
長洲友の会が「みなと憩い広場」を清掃

長洲友の会（津田悦司会長）は、長洲港の「みなと憩い広場」の清掃活動を行いました。これは、友の会が道路や学校のプールなど、町内の清掃ボランティアとして活動しているもので、当日は、ボランティアとして約10人の会員が参加。

カモメのフンなどで汚れた公園周辺の手すりやベンチを高圧洗浄機などできれいに清掃しました。

津田会長は「きれいになった公園を訪れる皆さんに喜んで使ってもらえればうれしいですね」と笑顔で話しました。



緊急時の対応を実演して見せる徳永さん

2/22 緊急対応の体制を強化
学校給食アレルギー対応研修

町教育委員会は、中央公民館で町内小中学校・保育所の職員を対象に学校給食アレルギー対応研修を行いました。

これは、子どもたちが学校や保育所で安心して給食を食べられるように、食物アレルギーに対する職員の理解を深め、緊急時に対応できる体制を整えるために毎年行っているものです。

この日は、有明広域行政事務組合荒尾消防署長洲分署の徳永伸介さんを講師に迎え、アナフィラキシー反応の特徴や緊急時の役割分担、心肺蘇生法について実演を交えて学びました。



感謝の気持ちを込めて劇を披露する子どもたち

2/27 感謝の気持ちを込めて
長洲小2年生が歌や劇を披露

長洲小学校（甲斐裕一校長）は、デイサービス心の花の利用者とスタッフ総勢10人を招いて、演劇を披露しました。

これは、本年度の地域学習の一環として心の花を訪問した2年生がお礼の気持ちを伝えたいと、昨年の学習発表会で演じた劇「スーホの白い馬」を利用者とスタッフのために披露したものです。

利用者は一生懸命に劇を披露する子どもたちを見て、掛け声をかけたり、拍手をするなど、大いに盛り上がりしました。



甲斐校長と6年生の皆さん

1/19 熊本県内で唯一
長洲小が交通安全で全国表彰

長洲小学校（甲斐裕一校長）は、東京で開催された第58回交通安全国民運動中央大会で、県内で唯一、交通安全優良学校として表彰されました。

これは、長洲小学校が交通安全子ども自転車競技大会へ長年参加していることや、地域住民による見守り活動、実際の通学路での交通安全教室を地域の協力を得ながら実施していることが全国的に高く評価されたものです。

甲斐校長は「これまで関わってくださった皆さんに感謝しています。子どもたちには、さらに気を引き締めて交通事故防止に努めるように呼び掛けました」と話しました。



海苔は乾燥させて、記念に持って帰りました

2/22 腹赤小5年生が海苔を手作り
海苔手すき体験教室

長洲・牛水地域干潟保全会（上田浩次代表）は、腹赤小学校で海苔手すき体験教室を開催しました。これは、児童たちに昔行われていた海苔手すきを体験してもらい、地元産業である海苔養殖業に興味を持ってもらおうと毎年行っているものです。

この日は、5年生33人を対象に海苔養殖について説明し、その後海苔手すき体験が行われました。

参加した児童からは、「楽しかった。またやってみたい」、「海苔を型に入れるのが難しかったけど、教えてもらえてうまくできた」などの感想があがりました。